

三多摩学童保育連絡協議会

運営委員会 ニュース

2006年度 4

第4回運営委員会を以下開催いたします！

日時: 2006年12月23日(土) 13:30 ~

日曜日ではありませんのでご注意ください！

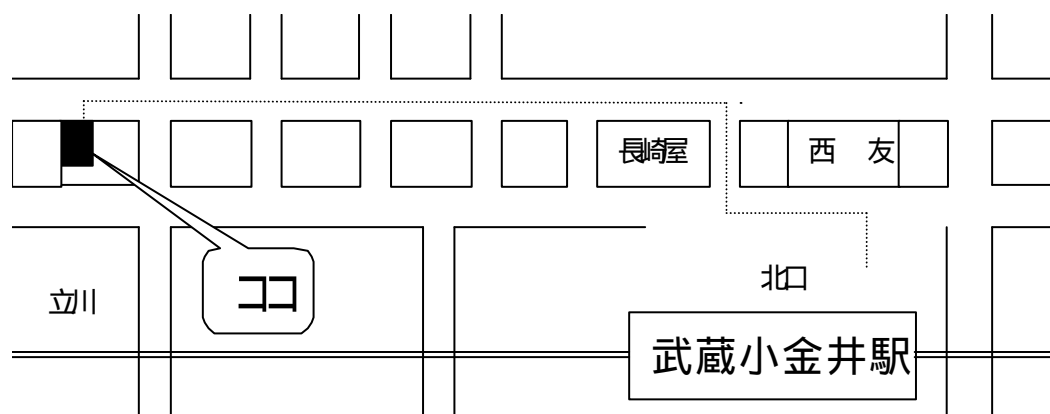
場所: 小金井市上之原会館会議室A B (地図は下)

第1部: 地域の状況の交流 (13:30 ~ 15:30)

とりわけ「放課後子どもプラン」について

第2部: 通常の議題 (15:40 ~ 17:00)

- (1) 第19回三多摩フォーラムについて
- (2) 全国研究集会について
- (3) 「日本の学童ほいく」誌について
- (4) その他



武蔵小金井駅北口・徒歩約10分、上之原公園手前
電話 042 381 9911

「放課後子どもプラン」実施の見通しは？

群馬県高崎市が、来年度は「放課後子どもプラン」実施を見送ったという報道がありましたが、他県でも同様の動きが見られます。「地域子ども教室推進事業」は経費の100%が国からの助成金でしたが、「放課後子ども教室推進事業」では3分の1を市町村も負担しなければならないこと、この事業が3年間の限定付きで、その後も続く確証がないことが大きな理由かと思われます。

三多摩連協では、11月21日の「東京の学童保育を充実させる会」の要請行動の時とその後、東京都教育委員会の担当課に多摩地域の「放課後子ども教室事業」実施の見通しをお聞きしました。「詳細は公表できないが、現在6市が実施しないことを表明。最終的には、3分の1の市町が実施せず、3分の1は市町で1箇所程度、残り3分の1が適当数の実施となりそう」とのことでした。

でも、「放課後子どもプラン」で一番重要なのは学童保育の方。2万箇所を前提した190億の厚労省の概算要求の全額実現と、それを支える地域の動きです。これを機に、大規模学童保育を少しでも解消したいものです。

「放課後子ども教室事業」をどの程度実施するのか？ 学童保育所を新・増設する計画はあるのか？ とりわけこの2つの動きについて、運営委員会第1部で交流いたします。行政の動きをぜひ掴んでください。

第12回三多摩学童保育指導員研修会に66名の参加！

11月26日(日)に西東京市コール田無で開催された第12回三多摩学童保育指導員研修会には、66名の参加がありました。

午前中の全体会は、全国連協副会長の下浦忠治氏の「揺れる放課後、今だからこそ大切にしたい生活の場」と題する講演。「子どもに安心を実感させること」「親とつながり、親同士をつなげていくこと」など、学童保育で大切にしてきたことが本当に大切であることを、再認識させていただきました。午後は、3つの分科会に分かれて、学童保育を巡る状況や子どもをとらえる視点などを学びあいました。

23区や埼玉県からも参加者があり、さらには終了後の打ち上げにも参加していただき、いつもの盛り上がり、さらにいっそう盛り上がりを見せました。

第19回三多摩学童保育フォーラム in むさしの、準備着々！

来年2月18日に亜細亜大学で開催を予定している「第19回三多摩学童保育フォーラム in むさしの」は、「指導員と親が本音で語り合えるような場に！」というコンセプトで、準備が着々と進んでいます。今回から、三多摩連協の役員と武蔵野市の皆さんで、合同実行委員会を結成して企画にあたっています。第4回運営委員会の時には、すべての分科会の構成と講師・助言者も決まっていることでしょう。

この3年間は300名以上の参加者を実現しました。ぜひ今回も！ 参加組織をよろしくお願いたします。第4回運営委員会で、申込書付きチラシをお渡しいたします。